



トピックス

富山県立中央病院新病棟 「中央病棟」完成

全面改築
第一期工事

平成七年度完成を目指し全面改築に取り組んでいる、県立中央病院に新しい病棟（中央病棟）と呼びます。が完成しました。

新病棟は「日本一の健康県づくり」を担う基幹総合病院として、高度の医療技術の提供に加え、患者本位の「県民に信頼される二十一世紀の病院」を目指しています。

完成した新病棟は、平成元年九月から第一期工事を進めていたもので、鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下一階、地上十階建てで、屋上に山岳遭難などの緊急輸送用として、ヘリポートを設置しています。

延べ面積は二五、七三七㎡で六月一日（月）にオープンします。

県民に信頼される 21世紀の病院

「日本一の健康県づくり」を担う基幹総合病院として高度の医療技術の提供に加え、患者本位の「県民に信頼される二十一世紀の病院」を目指します。

3

今後の工事の予定

今後、既存の病棟の解体撤去工事、改修等を行ったうえで引続き第二期工事として外来診療棟、中央診療棟の工事に着手します。

新しい病院は平成七年度に完成する予定です。

工事期間中は、現在地での改築のためにかと、ご不便をかける点もあると思われますがよろしく願います。

なお、新病棟は、六月一日オープンのため五月三十一日（日）に移転作業を実施します。

当日は、混雑が予想されますので、救急医療は他の医療機関をご利用願います。また、入院患者さんへの面会についてもご遠慮下さるようお願いいたします。



安らぎ空間
「緑のホール」

2

新病棟の概要

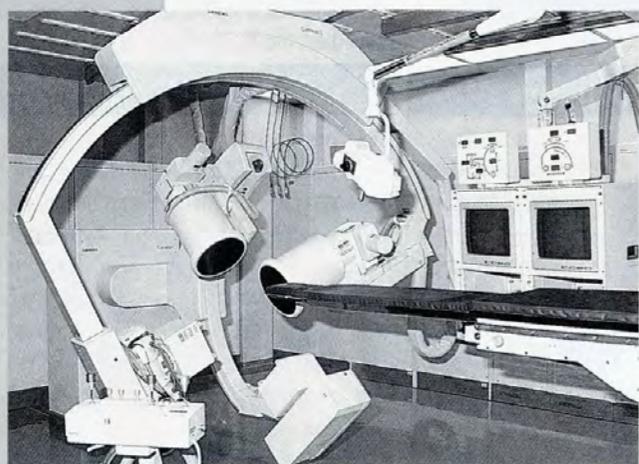
新病棟は二、九階に一室あたり四床を越えない、ゆったりとした病室を設け、各階に病棟食堂、テイルームを設置しております。また、地階には放射線治療部門、一階には救命救急センターや人工透析室、十階には展望浴場を設けています。

さらに、がん等の末期患者が「残された日々を心安らかに」「人間としての尊厳を保ちながら過ごせる」よう、患者個々に配慮したターミナルケアを実施することとしています。

その他、骨髄移植などに備えた無菌病室を設けるとともに、MRI（磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置）、リニアック（放射線治療直線加速器）、アフターローディング（放射線体腔内微小線源治療器）などの、最新鋭の医療機器を設置しております。



▲無菌病室



▲血管造影室（心臓血管撮影装置）